

当たり前ってどういうこと？

～仕事を性別から考える～

小学校・4～6年生

I プログラムについて

1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「参加・参画」）

＝【人権感覚育成のための視点】

「男だから」「女だから」というジェンダー（社会的に要求される役割などの社会的性差）にとらわれず、自分が将来就きたい職業や生き方を考え、社会を担っていく大切さを実感する。性別にとらわれることなく、自分の個性を大切にし、能力を伸ばそうとする意欲をもつ。

◇関連する個別の人権課題「女性」

2 関連する教科等について

○学級活動

内容（3）一人一人のキャリア形成と自己実現

（ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成）

3 人権教育上の視点

（1）自分の能力を生かしたり、思いや願いをもったりするなど、主体的に社会へ参加・参画する態度を身に付けている。（価値・態度）

（2）性別に関係なく、自分の能力を発揮することが大切であると感じることが出来る。（技能）

II アクティビティーについて

1 概要

○活動1

ワークシート1を見て、それぞれの職業から、男女どちらを連想するかを考えた後、性別に左右されることなく、思いや願いをもって人々が夢を叶えて働いていること、自分も夢を叶えるのに性別は関係ないことを知る。

○活動2

学習したことを踏まえ、ワークシート2を見て、将来の夢を大切にしたいAさん、Bさんの台詞を考える。本日の学習で学んだことをまとめる。

2 準備するもの

- 様々な職業についている人々の写真
- ワークシート1、2

3 アクティビティーの進め方

○活動1 「女性？男性？」

- ① ワークシート1を見て、それぞれの職業から男女どちらを連想するかを考え、記入する。どちらを連想したか、発表し合い、クラス全体で共有する。
- ② 連想から外れた、又は少数と考えられる性別の人がその職業には就けないのか、就いていないのかを考える。
- ③ 様々な職業に就いている人々の写真を見て、性別にとらわれることなく思いや願いをもって人々が働いていること、自分も夢を叶えるのに性別は関係ないことを知る。

○活動2 「こんなとき、どう言う？」

- ① 学習したことを踏まえ、ワークシート2を見て、設定された場面1のAさん（女子）、場面2のBさん（男子）の台詞を考える。親から夢を反対される2人が、大切な将来の夢のために何と言ったらいいかについて、個人で考えた後、ペア・クラス全体で共有する。

○活動3 「振り返り」

- ① 学習を通して、気付いたことや考えたことをまとめる。

4 アクティビティーを指導する際のポイント

- よりよい社会の実現を目指し、積極的に社会へ参加・参画する意識を高めさせる。そのためには、日常生活で見過ごしていたり、当たり前のように感じていたりすることに疑問をもつような児童の感受性を大切にしたい。
- 「こんなとき、どう言う？」の台詞を考える場面では、自分自身のこととしてとらえるために、基本的に男子は男子の台詞を、女子は女子の台詞を考えさせていくが、希望する台詞を考えさせていくのでもよい。どちらであっても、男女関係なくAさん、Bさんの気持ちを大事にして台詞を考えさせたい。
- 将来の生き方や目標を考えるなど、キャリア教育の一環として行うこともできるアクティビティーである。

Ⅲ 授業の実際

| 時間 | 学習活動 発問 (T) 児童の反応例 (C) | 教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎) |
|-----|--|---|
| 3分 | <p>1 ワークシート1「女性？男性？」 T 次の仕事の名前を聞いて、思い浮かぶのは女性と男性どちらですか。ワークシートに書きましょう。 C パイロットは男の人だな。 C 幼稚園の先生は女の人かな。</p> | <p>・瞬時に連想させたいが、どちらとも言えない場合もあると思われる。その場合は両方を選んでよいことを伝える。</p> |
| | <p>2 学習内容の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>当たり前ってどういうこと？ ～仕事を性別から考える～</p> </div> | |
| 30分 | <p>3 ワークシート1に基づいた意見交流 T それぞれの職業についてどちらを思い浮かべたのか、理由と一緒に発表してください。 C ○○の仕事は、女性にしたよ。ぼくの知り合いの人が勤めているから。 C 両方だ。テレビで見たことがある。 T あまりその職業にイメージのない性別の人は、その仕事には就いていないのでしょうか。その仕事はできないのでしょうか。 C どっちがやってもいいと思う。 C この職業は絶対男性（女性）がやった方がいいよ。 T みんなの職業のイメージがどちらかの性別に偏りがちのものもあるようでしたが、どの職業も性別に関係なく就くことができます。 C 驚いた！ 女性のパイロットっているんだ。 C 化粧品販売員って男の人もあるんだ。</p> | <p>・自分の意見と異なる意見を否定しないことを約束する。 ◎自分の能力を生かして職業を選択できることがつかめるよう、児童の職業のイメージについて考えた理由を聞き、肯定的な声掛けをする。(技能)</p> <p>・ワークシートの結果から性別が偏る職業を取り上げ、他方の性別の人は、その仕事ができないのか投げかける。</p> <p>・性別に関係なく職業を選択できることを伝える。 ◎自分の能力を生かしたり、思いや願いをもったりして職業を選択できることに気付けるよう、実際にその職業に就いている人の写真を提示する。(価値・態度)</p> |

| | | |
|-----|---|---|
| | <p>C よかった。どの仕事に就いても大丈夫なんだね。</p> <p>4 ワークシート2「こんなとき、どう言う？」</p> <p>T 場面1、場面2の夢を叶えたいAさんとBさんの台詞を、1人で考えてみましょう。</p> <p>T 次に、Aさんの台詞を考えた人同士、Bさんの台詞を考えた人同士で台詞を聞き合しましょう。4人程度のグループになって、グループで一つの言い方にまとめて発表してください。</p> <p>C 男女関係なく、私は、自分の好きな仕事に就きたい。</p> <p>C 幼い頃からの夢だし、夢を実現するために一生懸命に勉強してきたよ。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 男女関係なく、自分の希望する職業に就けることを踏まえて、AさんとBさんの気持ちを大切にした台詞を考えさせる。 自分自身のこととしてとらえるために、基本的に男子は男子の台詞を、女子は女子の台詞を考えさせてもよいが、希望する台詞を考えさせるのもよい。 <p>◎性別に関係なく自分の能力を発揮することが大切であるという意見を称賛する。(技能)</p> |
| 12分 | <p>5 振り返り</p> <p>T 今日の授業で学んだことや感想を書きましょう。</p> <p>C 男女関係なくどの職業に就いてもいいことがよくわかった。なりたい職業があるので、安心して、勉強していきたい。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 振り返りシートに書かせる。ねらいに沿った感想を書いている児童に発表してもらい、学級全体で共有できるようにする。 |

IV 資料

(1) 様々な仕事についている人々の写真

【医師】



【保育士】



【弁護士】



【パティシエ】



(3) ワークシート2

こんなとき、どう言う？

年 組 番 ()

☆2 次の二つの場面で、あなたがしょう来のゆめを大切にしたいAさん、Bさんだったら、なんとおっしゃいますか。今日の学習を生かして考えましょう。

場面1

Aさん 「わたしのしょう来のゆめは、医者になることだよ。大学に進学する必要があるから、勉強をがんばって大学に行きたいんだ。」

Aさんの親「お兄ちゃんは大学に行ったけれど、あなたは、女の子なんだから、大学に行かなくていい。医者になんかならなくていいんだよ。」

Aさん 「.....」



場面2

Bさん 「ぼくのしょう来のゆめは、ようち園の先生になることなんだ。」

Bさんの親「ようち園の先生は、女の子がなる仕事だよ。」

Bさん 「.....」



☆3 今日の授業で学んだことや感想を書きましょう。

.....

.....

.....

.....

V 出典・参考資料

- 「人権教育学習プログラム一事例集一」（平成19年3月）和歌山県教育委員会
- 教師用指導資料「男女共同参画社会の実現をめざす教育の実践に向けて」（平成19年3月）兵庫県教育委員会 一部改変